

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

理事長の職務執行状況、事業・決算中間などを報告

令和4年度第2回(第63回)理事会



10月23日(日)午後1時～3時、富山県聴覚障害者センターで開催され、理事8名、監事1名が出席。令和4年度事業と決算の中間報告の他に、指導監査の指摘を受けて理事長による自己の職務執行状況報告を新たに入れました。

会費納入数が195名に。相談支援はテレビ電話による相談があり、今後増える見通し。共募助成事業として手話通訳I担当講師養成事業を10名の受講者で行っており、外部講師を2回招いて研修を深める予定。講座が30程残っており、後半期にてバランス良く全て実施できるようにしたいと中間事業報告をしました。法人全体の中間決算は黒字です。

「会員減少の原因は?」「手話通訳者養成講習会の講師資格を明確にしてほしい」などの質問・意見があり、中橋業務執行理事から「亡くなられた会員がいること、若い会員がなかなか入らない。講師資格については、講師養成連続講座を受けた者が望ましい」と回答しました。議案はすべて全員一致で承認されました。最後に富山市による指導監査、センター空調設備等更新工事の入札結果と工事進捗状況の報告、来年度県予算への要望内容の説明を行いました。

空調設備・換気設備の取り替え工事が完了しました！！

9月13日に始まったセンター空調設備等更新工事は、11月24日に完了しました。工事期間中はセンター利用に関して大変迷惑をおかけしました。新しくなった空調・換気設備で、この冬は暖かく過ごすことができます。ぜひご利用ください。

聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会の報告

11月10日(木)・11日(金)の2日間、オンラインで開催。講義の講師は、全日本ろうあ連盟元理事の小中栄一さんと聴覚障害者情報文化センターの早川代志子さん。小中さんは、アクセシビリティの改善による障害者の生活の変化、情報のバリアフリー化の取り組みについて、早川さんに聴覚障害者向け字幕、字幕付制作の基本的な考え方、字幕の作り方の手順についてをお話いただきました。グループワークでは、1日目はブロックに分かれて討議。全国レベルの大会を開催したときにブロック内で映像収録チームを結成して収録に携わった事例があり、今後この取り組み方が望ましいとの意見がありました。2日目のグループワークは「企画」「撮影」「照明」「著作権」「ICT」の5つに分かれて情報交換。菊池は「撮影」でカメラの操作、ホワイトバランスの撮り方、三脚の種類、撮影する際の注意点等、職員歴の浅い方に対し、助言をしました。(文責・菊池)



センター利用の実績

10月21日～11月20日

- 来所者合計 約498名
聴障者約197名、健聴者約301名
- コミュニケーション支援 117件
- ライブラリー貸出 0件 ●相談対応 9件
- 部屋貸出 28件

- ★センター運営募金・募集郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者センターを支える会
よろしくお祈いします。